

業 務 名

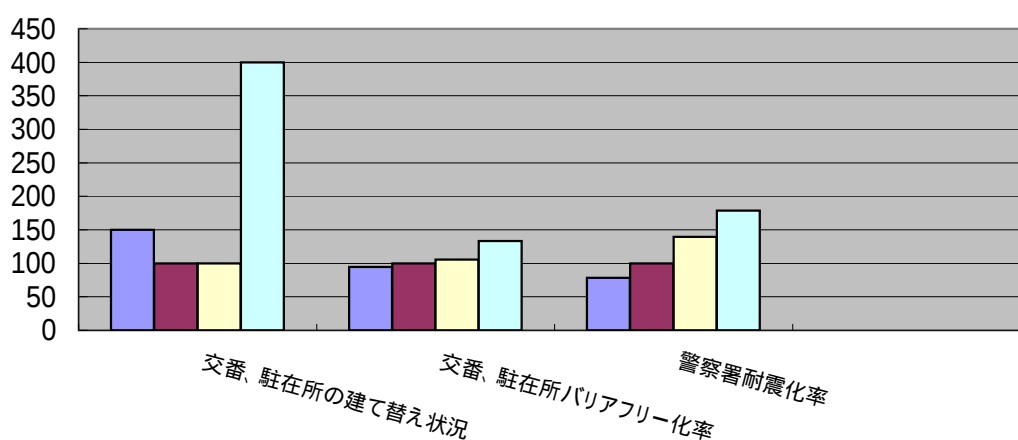
警察施設の整備

○業務に関する統計

項 目	統 計 の 推 移				
交番、駐在所の建て替え状況	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	3	2	2	8	戸
交番、駐在所バリアフリー化率	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	17	18	19	24	%
警察署耐震化率	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位
	22	28	39	50	%
	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	単位

統計の推移

■平成13年 ■平成14年 ■平成15年 ■平成16年



< グラフは、平成14年を100とする指数で表した。 >

○業務の主なコスト

No	事 業 名	平成16年度事業費(千円)	平成17年度事業費(千円)
1	警察官増員対策事業費	17,766	10,680
2	施設運営費	628,228	490,285
3	警察本部庁舎維持管理費	139,932	125,016
4	警察官駐在所等整備費	148,238	142,482
5	庁舎等施設整備費	74,696	67,705
6	通信指令室整備費	55,631	
7	警察署庁舎整備費	68,521	277,938
8	犯罪多発地区における治安拠点・パトロール等強化事業費	177,260	175,000
合 計		1,310,272	1,289,106

○平成16年の取組み

●老朽・狭隘化している交番、駐在所を県民が利用しやすい施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置を重点として、桑名警察署桑名駅前交番、鈴鹿警察署神戸交番（旧鈴鹿市駅前）、津警察署南郊交番、松阪警察署川井町交番（旧殿町）、四日市西警察署朝上駐在所、津警察署美里駐在所を建て替えたほか、松阪警察署明和町内の5駐在所を統廃合し、明和交番を新設し、さらに上野警察署伊賀市内の4駐在所を統廃合し、ゆめが丘交番を新設した。

●東海、東南海地震の発生が危惧されているところから、防災活動の拠点として警察署施設の機能が十分発揮できるように、桑名警察署、尾鷲警察署の耐震工事を実施した。

○課題を踏まえた平成17年の取組み

●交番、駐在所が、地域の安全センターとして十分に機能し、住民の安全・安心のよりどころとなる施設とするため、バリアフリー化や相談室の設置に配慮しつつ、犯罪多発地域を重点に、3交番、5駐在所の建て替えを計画している。

●警察署施設は、防災活動拠点として県民の生命、身体、財産を守るための重要な施設であることから、大台警察署、鵜殿警察署の耐震化工事を計画している。

●北勢地区の治安・防災の活動拠点として、老朽、狭隘化の著しい四日市南警察署を3箇年計画で建て替えることとし、本年度（2箇年目）は、体育館等の解体、新庁舎の建設を計画している。